

JARL福井県登録クラブ代表者会議の報告

文責 支部長 JA9CD 柳原 一成

実施日時 平成27年1月25日(日) 10時00分～14時20分

場 所 福井市和田 中部特機産業(株)福井店 2F会議室

(登録クラブ番号順・敬称略)

参加者	地方本部	地方本部長	JA9BHE	柴田 雄司
	支部運営	支部長	JA9CD	柳原 一成
	登録クラブ	JARL 敦賀クラブ	代理 JE9VWK	北村 信二
	“	JARL 大野クラブ	代表 JA9EEH	松野 和夫
	“	JARL 坂井クラブ	代理 JH9LGZ	小林 孝治
	“	JARL 今立クラブ	代理 JH9HEC	高野 吉宏
	“	社南地区防災クラブ	代理 JI3XAB	富加見 俊哉
	“	福井大学クラブ	代表 JA9AOB	銅子 賢治
	“	越前移動無線クラブ	代表 JF9EDA	山本 直樹
	“	福井あすなろ倶楽部	代表 JF9NDY	矢部 鶴雄
来賓	招聘出席	JARL 副会長	JA9BOH	前川 公男
	“	社員 (福井県選出)	JA9SZN	竹本 宇宏
	“	前期支部長	JA9BXN	野田 正男 (8J9WSH 実行委員長)
	傍聴出席		JA9JF	米田 範光
	“		JA9JXC	大橋 勲
	“		JF9LRS	安本 実



会議の風景1

登録クラブ代表者会議と称する会議は連盟の諸規定には明示されてありませんが、社団法人として組織された時代から脈々と受け継がれ、組織の原点であるとしてきた会議です。

一般社団法人と変革した新体制の制度として明示されてないが、連盟規則 38 条に支部長の職務が規定されている各条項に照らして、重要で、かつ支部事業の支柱をなすものとして開催しました。

開催の告知は、平成 26 年 11 月 28 日福井県支部登録クラブに下記、議題を附して開催を案内しました。

- 議題
- (1) 福井県支部長就任のご挨拶及び、支部体制について
 - (2) 北陸地方本部会議のご報告と質疑
 - (3) 特別局 8 J 9 W S H の運用を終えて
 - (4) 福井県支部アワード発行の現況報告と活動について
 - (5) JARL の組織改革その後。ご報告と質疑 J A R L 副会長 J A 9 B O H 前川公彦
 - (6) 27 年度福井県支部の事業計画と予算計画について
 - (7) 各登録クラブから「クラブの現況」の紹介。
 - (8) J A R L に対する要望など e t c、その他。

上記の内容で会議が進行されました。一部、議事の進行の都合で順不同になりました。

- (1) 挨拶及び支部体制について

26 年度の支部長選挙に立候補者がなく、11 月まで支部長不在で活動が停滞しておりました。

福井あすなろ倶楽部、並びに JARL 坂井クラブの推薦をいただき、連盟規則 38 条により連盟会長から委嘱されて支部長に就任しました。

しかし、よわい 78 の高齢者であり、リリーフ投手の立場であり長期に務められる状況ではありません。

支部活動は、すべての支部会員、なかんずく登録クラブの会員各位が協力して、支部に配分される運営費を賢く使ってハムライフを楽しみあうことが肝要です。

しかし現状では会員からの要望などを織り込んで新たな取り組みができなかったため、事業計画は前期を踏襲したものであり、支部運営委員などの選任もいたしていません。

今日は、この会議を通して相談しながら作り上げていきたいとの望みをかけています。

皆様方のご協力をお願いします。

(2) 北陸地方本部会議のご報告と質疑。

昨年、12 月 14 日 10 時より 日本赤十字富山支部会議室で開催され、支部長が出席しました。

今日は、本部長がご出席ですから直接、お話をお願いしました。

(1) 北陸地方本部長の挨拶

(2) QRP、Day 特別記念局運用 8J9VLP 石川県支部で実施 北陸 3 県に移動運用予定

(3) 第 66 回全国植樹祭 8J9G 5/18～6/30 運用予定

(4) JARL 創立 90 周年記念行事

平成 27 年 (2015 年) 6 月からの「1 年間」を、JARL 創立 90 周年を迎える年とし、創立 90 周年記念行事を実施します。

特別記念局 8J90RL の開局も計画されているが次回の理事会で審議される予定です。

詳細は、JARLNEWS、ホームページ、JARL メールマガジンなどで発信されます。

(5) 例年、北陸ハムフェスティバルを北陸 3 県、担当を持ち回りで開催しています。

今年は、福井県の担当になるので宜しく御願います。

(6) 受信環境クリーン月間 特別局 10 月 8N9C 運用予定

(7) ARDF 北陸大会を、秋 10 月頃に開催を予定しています。

これも北陸 3 県、担当を持ち回りでバックアップを御願っています。

今年の会場は福井県になっているので事業担当の JA9BJS 俵さんと連携の上

よろしく御願います。

(8) 福井県支部の監査指導委員長が未定になっているので選出して頂きたい。

(3) 特別局 8 J 9 W S H の特別局運用に係る成果や課題

JA9BXN 野田氏から提出された報告書によって発言されましたので掲載します。

平成 26 年 7 月 1 日から同年 11 月 30 日の 153 日間に「海湖と歴史の若狭路」発信事業実行委員会(事務局:福井県観光営業部内)は「舞賛若狭道全線開通を契機とした嶺南嶺北地域の一体化や嶺南地域への県外からの誘客をはかるために必要な事業を行い、もって元気な嶺南地域を作ることを目的とする」に合わせて若狭さとうみハイウェイ開通記念特別局(8J9WSH)を開設して「海湖と歴史の若狭路」の観光・ブランドをアマチュア無線を通じて世界に発信すると共に地域アマチュア無線の活性化をはかることを目的としました。

1、運用の結果・成果

福井県の全市町から運用して、国内を筆頭に米国、英国、中国、韓国、アルゼンチン、ベルギー、オーストラリア、ドイツなどと「10766」交信しました。全ての交信者には福井県・若狭の魅力(ブランド)の記念交信証明書(QSL カード)を送付します。

公開運用は高速道ウオーキング・敦賀祭り(敦賀市)、三方五湖 PA・若狭道路さとうみフェスティバル(若狭町)、みはまナビフェス 2014 (美浜町)、四季菜館(小浜市)などで行い、記念交信証明書(3300 枚)の記布も行いました。

他方、新聞(福井、中日、県民福井、朝日、産経)と福弁テレビなどの取材があり、特別局の活動が報道されました。月刊誌(CQ ハムラジオ:2 万部発行)に趣旨と活動状況を投稿して掲載 (H26 年 10 月号)されて、福井県の魅力(ブランド)も合わせた広報活動の成果と実績が出来ました。

尚、協賛等団体は「海湖と歴史の若狭路」発信事業実行委員会、福井県、敦賀市、美浜町、若狭町、小浜市、NEXCO 中日本(敦賀工事事務所)でした。

2、課題

(1)行政との対応

最初、敦賀市観光振興課に行きましたがその課長はアマチュア無線の知識は有りましたが課員は何だ?とか、JARL 福井県支部と言っても何の団体(?) 程度でした。福井県庁も同様でした。やはり、福井県支部としては福井県庁(観光営業部や安全環境部:観光や防災)には日常のご挨拶が必要と強く感じました。協賛などを頂くに

もこのお付き合いは必要です。

行政は前例で動きますので、8J9WSH 局での協賛は前例が無く固着状況でしたが前例が無いのなら前例を作れば良いと考えて〇〇などの協力を得て対応しました。

行政は一度動き出すと動きが早いのですので友好的に対応出来ました。各部警の課員ともフレンドリーになります。ここまでには 10 回以上は通う必裏が有りますね。

電話で済むことも顔を見せることが大事ですね(皆さんには釈迦に説法ですが・・・)。

(2)JARL 手続

初めての事ですので JARL 窓口で実施しました。JARL 窓口は親切に対応して頂けます。

JARL 窓口では経費は¥9100 円で QSL 転送もできます。総通直接特別局免許取得での QSL 転送は¥10800 円ですね。

(3)情報の共有化(対応メモの作成)

行政や JARL 対応メモ(議事メモ)を作成して情報の組織共有化をはかりました。

電話のみだと言った！聞いて無い！など混乱が生じて特別局の組織が崩壊しますのでメモ作成と周知は作成時簡も必要で大変ですが大事な事です。

(4)公開運用の大事さ

行政職員などに対応していると我々側も人の集まる場所で日常的に公開運用して県民市民に知って頂く事が大事と考えます。知らないのが悪い！と言うより知って頂く公開運用の行動が大事です。移動運用は良く聞きますが公開運用は少ないですね。

(5)公開運用で感じたこと

8J9WSH を運用して感じましたが受信信号を来場者にオーディオアンプを通じて聞こえるようにすることと、アマチュア無線の案内と交信状況(何処と交信しているのかなど)の解説を行うことが大事です。交信状況を見て理解しろ！では来場者には十分な理解はできないと思います。交信オペレータはおじさんよりは YL や少年の方がマスコミや来場者には受けが良いですね。おじさんは設営の支援要員ですね。

公開運用のブースではゆるキャラの展示や説明パネルは必要ですね。配布物が有れば良いですが難しいパンフレットでは直ぐにゴミ箱へ行きます。

(6) マスコミ対応

こちらから積極的に働きかけて特別局の報道をして頂きました。報道されている事で行政から協賛も得られますし、アマチュア無線の理解も得られます。CQ誌も同様に全国への広報活動です。マスコミ関係者とも日頃からの付き合いが必要ですね。

3、その他・県内移動と登録クラブの方々に御礼

今回の県内移動で交通事故やケガなどトラブルが無かったことに安堵しております。

これは各登録クラブから運用参加者して頂いた方(35名)の危機管理と自己責任で対応頂いたこと、無線機器やアンテナなどの無償提供に心から感謝しております。

————— ここまで、8 J 9 W S Hの報告。

(4) 各登録クラブの現況

出席された各登録クラブから構成員や活動の現況を報告して頂きました。

報告の結果、出席された各登録クラブは、登録時の要件を満足していることが確認されました。

報告の中で、敦賀クラブからは8 J 9 W S Hの活動、大野クラブからは、8 J 9 O N Oの活動とそれに関連して、他エリアの姉妹都市関係との共催活動など話題が突出していました。

また、社南地区防災クラブからは防災啓蒙を中心に地域と密接に活動されているが、防災ボランティア精神が先行して、アマチュア無線としては無関心の会員が多いという嘆きが披瀝されました。

一方、クラブ員が増えない、会員の高齢化を反映して活動が低迷しているなどの苦境を話されるクラブもありました。

(5) JARLの組織改革その後。

福井県在住のJ A R L副会長J A 9 B O H 前川公彦氏からJARLの現況と高齢化社会への推移とJARL会員の年齢構成をあらわしたスペクトラム図を参考に、今後の会員増強に取り組まれるお話を頂きました。

話題は、10年以前からの会員の年齢構成と5年・10年後の推定と題して、

具体的なグラフの資料を示されて、約20分程度の解説で、お話をされました。

----- 12時20分 13時に再開するとして休憩になりました。-----



会議の風景 2

(6) 27年度福井県支部の事業計画と予算計画及び運営委員などについて

事業を行うについては費用が付きまといます。経費支出にいて次の様に考えています。

支部に配分される運営費用は我々会員が納付したお金であり、その使途は会員サービスに資するものであるべきです。

よって、会員から苦言を呈されるような使途には配慮の必要があります。

支部長の持論を強制するようで申し訳ないが、人間は、何時どこにいても、どんな時でも自己努力で食べたいものを食べるということです。

よって、飲食にかかる費用は支部運営予算から支出しない事としました。

一方、支部事業として位置づけられた催事の会場費や公開の移動運用、集会の為の交通費など、状況によっては発電機の燃料なども当然の経費として支出することになります。

ただ、現状の予算では、交通費などを潤沢に使えない事情があるので、公共交通機関の利用と限定し個人負担が¥1,000-を超える分について補助することにしました。

事業計画

(1) 支部の柱となる事業は「ハムの集い」となります。

集会、講演会なども否定はしないが、会員同士の親睦増進のため、お祭りの要素を組み入れ、移動運用の実践を展示しノウハウ得るなど、もの造りのテクニックを実演するなど「参加して楽しかった」と評価を受けるイベントを開催したい。

恒例となっている「北陸ハムフェスティバル」は持ち回りで、今期は福井県支部の担当に

なっているので、「ハムの集い」と共催にする。

この二つの事業を一体の事業として、名称は、遊びの色合いを強くすることでネーミングして「ハムの集いジャンボリー」とします。

開催地の選定は北陸全体の会員が参加しやすい地域を考慮して、福井市を含む以北にする。

最適の場所についてはその地域の登録クラブが熟知しているので、持ち帰って検討し、登録クラブ代表者のメンバーで情報を共有し、候補施設と交渉して最適地を選定する。

計画の詳細は、4月25日に開催予定の登録クラブ代表者会議で確定する。

北陸ハムフェスティバルは参加者を収容できる程度で、なるべく緊縮予算で行うようにと地方本部長からお願いがありました。

予算規模について検討されました。

現在支部には、支部長の不在任の期間が約8ヶ月あって、前野田支部長さんが繰り越していただき、繰越金は本日現在 ¥207,438円 残っています。

地方本譜長の説明では、支部運営費としては北陸3県で90万円程度の配分になり、支部会員数に比例して案分するとのことでした。

地方本部からの配分を運営費 ¥270,000.- 程度と想定して計画することになります。

27年度として総額27万円を目安額として支部事業を進めたい。

(2) 例年おこなってきた「親子ラジオ教室」を開催できるかどうかを検討しました。

「青少年科学心の向上」・「将来はアマチュア無線」の愛好者に育てるとの大義があるが対象となる「子どもさん」を募集すること自体に困難がつかまとう問題あり、講師や複数のサポーターを依頼することの努力が必要になる。前期に協力頂いた方々とも相談しながら福井大学クラブを中心に実施する方向で検討をお願いすることになりました。

(3) 連盟からの依頼された「会員増強」の計画事業として提案する。

「福井ハムアカデミー」と称して会員のスキルアップを図る「上級ハム勉強会」を計画。連盟に申請し、採用されれば経費は別枠で配分される。

講師は、本日来賓の JA9B0H 前川公男先生が担当されます。

(4) モービル用7MHzアンテナの自作講習会

手軽に移動運用ができれば、とのニーズに応じて長さが1・6m程度マグネット基台にM接栓で取り付ける方式です。

アルミパイプと短縮コイルを組み合わせたアンテナを自作します。

講習会用に部材を集めて、コイルパーツを一部加工してキットにします。

参加料は無料ですが、部品代は 5000 円程度です。公募する予定です。

(5) ハムセミナーパソコン活用

パソコンと無線機を接続するノウハウを伝授する講習会です。

ハムログをはじめ、画像通信や文字通信を行うにはパソコンと無線機を接続します。

実際の通信を、実演をまじえて、インターフェースとソフトウェアを解説する。

(6) 先にも話がありましたがクラブ代表者会議が支部運営の基本です。

(1)～(6)の催事を実施するには、4月に開催予定のクラブ代表者会議で詳細を

決定し、その後、8月に開催予定の「クラブ代表者会議」で総括を行います。

また、来年1月には次年度の事業計画を策定する「クラブ代表者会議」を、併せて

年間、3回の開催を予定していますので、参加下さるようお願いします。

(7) 支部発行アワード

アワードは継続的に発行する責務が伴います。

業務の性格上、発行のために諸費用がかかり受益者負担が常識になっています。

発行事務はパソコンを操作する部分が多く堪能な人が求められます。

申請が来るのも不定期で、申請があれば即座に対応を迫られます。

不確定部分が多い事業になっていますので、独立採算で会計処理をする予定にしています。

(8) アワード発行事業に伴い、県内局のアクティビティの向上が求められます。

このアワードは、県内各市町の運用局を獲得する規約になっているので、アワードの

発行を増やすには県内でのQRVを活性化する手立てを考える必要があります。

これを実現するために、アクティビティの低い地域に出かけて行って移動運用し、

申請者に県内各地のQSLを獲得して頂くことを計画します。

(9) 登録クラブの抹消

連盟のクラブ規程では次の様に定めている。

第14条 クラブの登録有効期間は、通常選挙の行われた年の翌年4月までとし、

4月に支部の指示に従って登録更新をするものとする。

2 前項の登録更新のとき、更新届出のないものは、1箇月間の猶予期間を経て

登録を取り消すものとする。

これまでの経過。JARL 福井クラブには前期野田支部長が登録更新をお願いしました。

登録更新の提出が無いので前野田支部長が当時のクラブ代表者に面接して、

重ねて登録更新をお願いしました。

その後、約一年を経過しても連絡が取れない状況になっています。

誠に心苦しいのですが、クラブ規程に従わざるを得ない事態に至りました。

意見

◇ クラブの実態が無く、会員もいないようです。

◇ 大きく期限を過ぎていたので登録抹消の告示をすれば良い。

(10) 支部運営委員

規程によると支部長は監査指導委員長と若干の支部運営員を推薦する事ができます。

しかし、今のところ空白です。

この会議で相談し早急に確定したいので、協力をお願いします。

監査指導委員長

運営委員

会計担当

運営委員

ホームページ担当

運営委員

総務・事業担当

運営委員

アワード委員担当

運営委員

会議の終盤になって、

(1) 監査指導委員長

J A 9 E E H 松野 和夫 (J A R L 大野クラブ 代表者) 様が
就任を受諾されました。

(2) 運営委員 (会計担当)

J H 9 L G Z 小林 孝治 (J A R L 坂井クラブ 連絡者) 様が
就任を受諾されました。

(3) 運営委員 (総務・事業担当)

J F 9 L R S 安本 実 (福井あすなろ倶楽部 連絡者) 様に
就任をお願いしましたがクラブに持ち帰られ検討されることになりました。

(4) 運営委員（ホームページ担当）

適任者が見つからない状態でした。

(5) 運営委員（アワード委員長）

適任者が見つからない状態でした。

早急に支部運営委員を確定するべきでしたが、クラブに持ち帰って、充分にご検討を頂くことが支部の活動力の原点と考えて対処しました。

イベントや講習会の実施場所の選定について地域の情報を提供して頂くことや担当者の推薦などをクラブで検討して頂きますようお願いいたします。

中でも、支部ホームページを維持することやアワード発行する事務処理などは、いずれもパソコンのファイル操作で作業することが主なので、人選が限定的にならざるを得ません。

各登録クラブには、この担当を1～2週間のあいだに推薦をお願いしたところです。

登録クラブから推薦が出ない場合は、JARL広報誌やホームページで公募する事も検討せざるを得ないと思っています。

それでも見つからない場合には現在の方々に引き続きご担当をお願いしたいと考えています。

いずれも、次回のクラブ代表者会議までには、諸々の案件とあわせて確定して、

体制を整えたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。

(11) 電子化による情報伝達

支部では、関係者が一堂に会していろいろを囲むように話し合いができる

メーリングポスト（ML）を開設しています。

アドレスは、jarl_fukuiken24@freeml.com です。

クラブ間の情報交換や支部からの連絡、会議、集会の案内などを、MLを通じて行なう事で申し合わせができました。

時々、新着メールが届いていないか、パソコンの電源を入れてご確認をお願いします。

登録クラブで、まだ加入されていない方は、支部長に連絡して下さい。

支部長の個人アドレスは ja9cd@hokuriku.me です。